

ロータリー財団 を
理解をしていただくために

ロータリー財団とは??

2021-2022 千歳ロータリークラブ
ロータリー財団・米山記念奨学委員会

参考/国際ロータリー2510地区.2650地区ロータリー財団委員会資料他

〈卓話内容〉

▶ ロータリー財団の概要

▶ ロータリー財団の歴史

～なぜロータリー財団が生まれたのか?～

▶ ロータリー財団のプログラム

◇ポリオプラス・プログラム

◇ロータリー平和フェローシップ

◇補助金(DG・GG)

▶ 千歳RCロータリー財団・米山記念奨学 委員会活動方針と寄付の目標

◆ 米山記念奨学会 事業紹介ビデオ

「ひろがれ！人づくりの輪」

ロータリー財団は

- ロータリー財団は「**国際ロータリーのロータリー財団**」 **The Rotary Foundation of Rotary International** というのが正式名称です。ロータリー財団の構成員（株式会社の株主のようなもの）は1種類とし、これは「法人会員」と指定された唯一の構成員から成るものです。
- 法人会員は、米国イリノイ州の**非営利法人 国際ロータリー**
- ロータリー財団の管理委員（株式会社の取締役に対応）はR I 会長エレクトが推薦しR I 理事会が選出します。

国際ロータリーの100%子会社

ロータリー財団

ロータリー財団の財務

2018年6月末 (年次報告より)

- 国際ロータリー 純資産 1億4,010万ドル 収入 1億 450万ドル
- ロータリー財団 純資産 11億2,730万ドル 収入 3億9,142万ドル

ロータリー財団は
国際ロータリーの子会社

子会社の方が大きく
なった



ロータリー財団に最高の13年連続で4つ星評価

慈善団体の格付けを行う米国の独立機関、チャリティーナビゲーター(Charity Navigator)が、ロータリー財団に13年連続で最高の4つ星評価を与えました。

この評価は、ロータリー財団の健全な財務状況および説明責任(アカウンタビリティ)と透明性へのコミットメントが認められたことによるものです。

チャリティーナビゲーターの会長兼CEOのマイケル・サッチャー氏は次のように述べています。

「この功績と4つ星評価により、貴財団のファンドレイジングと広報活動によい影響がもたらされるでしょう」



ロータリー財団の使命

《財団の使命》

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、
世界理解、親善、平和を達成できるようにする

《国際ロータリーの使命》

私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する

「ワン・ロータリー」一致団結して使命を完遂

- 国際ロータリーとロータリー財団は独立した法人です。しかし、理念上も、実際上も、ひとつのロータリーとして機能しています。ひとつのロータリーとして一致団結することで、ロータリーは使命を果たすための強い土台を築いています。

ロータリー財団はロータリーの使命 を達成するための手段

- ロータリー会員は会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援しています

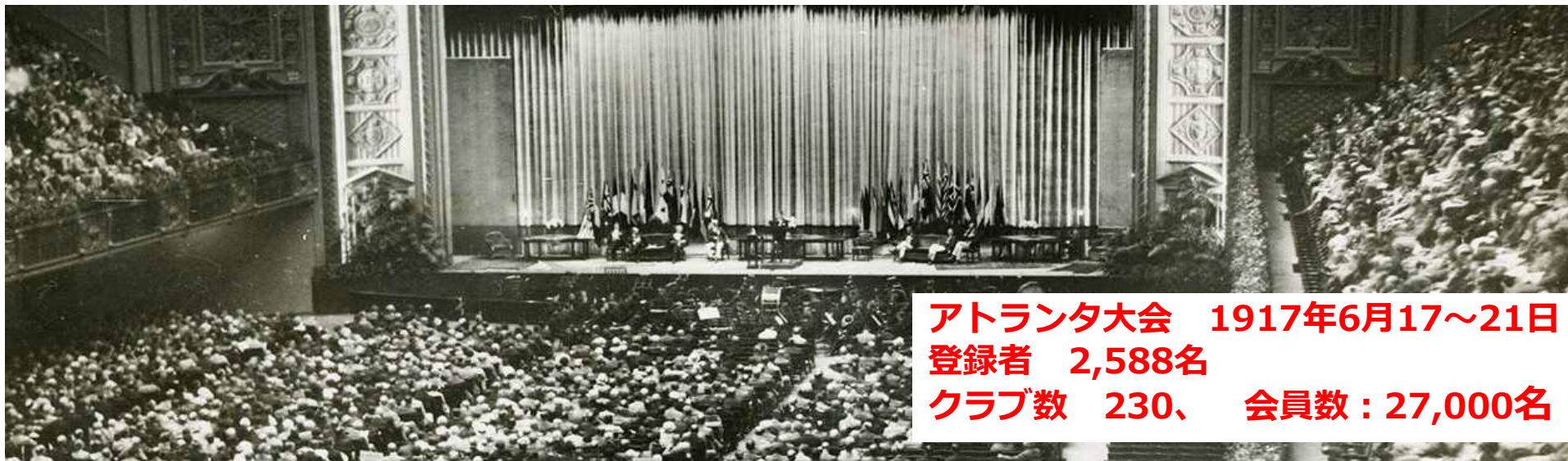
ロータリー財団とは

ロータリー財団は、皆様からのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。

創立以来教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトにより、世界の地域社会を少しずつ変えていく事ができます

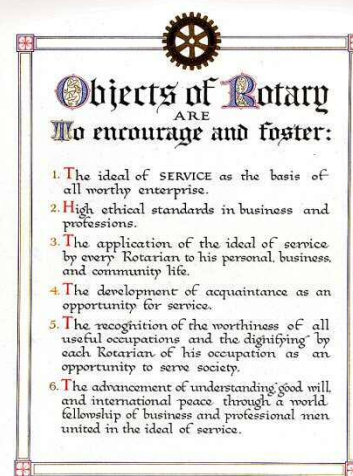
- **ロータリアンが所有する財団**
- **世界の最も切実なニーズに応える**
- **世界における活動範囲は国連を超える**
- **政府などの支援が行き届かない所で活躍**

ロータリー財団の歴史 ～なぜロータリー財団が生まれたか？～



アトランタ大会 1917年6月17～21日
登録者 2,588名
クラブ数 230、 会員数 : 27,000名

初期の財団



◇寝ても覚めてもロータリー “thinks Rotary, sleeps Rotary, and dreams Rotary”

アーチ・クランフはクリーブランドRCの4代目会長（1913－14年）としても活躍し、『寝ても覚めてもロータリー』と自称するほどロータリー活動に打ち込み、クラブ会長として最後の演説で『クラブが今後多くのことをできるように、緊急基金を設けよう』と提案した。



一言で言えば、
大きな活動をするためには
基金（お金）が必要！

◆アーチ・クランフの構想 “doing good in the world”

- 理事会で会長として、基金設立の提案をしたが、全く支持を得ることは出来なかった。
- そこで、1917年アトランタでの大会で、このプランを大勢の前で披露した。
- 『我々は今年、ロータリーのために基金を作る可能性について、組織に呼びかけた。**諸所の社会奉仕を今まで通りに実行していくには、慈善、教育、そのほかの社会的分野において、世界でよいことをするための (“doing good in the world”) 基金を作るのが極めて適切であると思われる』**

◇始まりは26ドル50セント

- しかし、このクランフの呼びかけに対する周囲の反応は、全くの無関心であったと言われている。
- 当時、退任するRI会長に、功労に対する感謝の品をプレゼントする習わしがクラブにあった。
- クランフ会長への贈答品の購入代金に余剰が出たカンザスシティーRCは26.5ドルをロータリー本部に送り、クランフ会長が提案した基金に入れるように要請した。(1917年7月理事会決定)
- 今の貨幣価値に換算すると 536ドル
- 日本円に換算すると 58,960円

◇財団創成期の状況

- 1918年の国際大会はカンザスシティー。こうして最初の種がまかれ、ロータリー基金が誕生した
 - しかし、6年たっても基金の残高はやっと700ドルに達したに過ぎなかった。(約140万円)
 - 11年後の1928年ロータリー財団が設立された
- しかし、元会長のうち誰一人として、財団のために力を貸そうという人はいなかった。とはいえ、断固反対する人もいなかった。

◇財団はクラフのたわいない夢？

『財団はクラフのたわいない夢だ』と述べる、
心なく、不当で、不誠実なロータリアンが時々
いることは残念』（1934年のアーチ・クラフの書簡）

- それくらい無視された存在。
- **8年間事実上クラフの個人的プロジェクト** 1924年
- ロータリー救済資金の残金500ドルを基金に
繰入 **1928年** **ミネアポリス大会**
- **ロータリー財団設立** 管理委員5名 5年任期
クラフが初代委員長
1929年末 5739ドル残高

なぜロータリー財団を設立したか

- **国際ロータリー**はイリノイ州の州法によって設立された非営利法人ですから、ロータリアンから、あるいは外部から寄付金を受け入れることは当然可能です。
- しかし、**寄付した側の会員や法人等は、税制上の優遇措置を受けることが出来ません**。そこで、同じイリノイ州の州法ですが、別の規定によって設立したのが**ロータリー財団**なのです。

- ① 多額の資金管理を行うため
- ② 税制上の優遇措置を得るため
法人運用益の免税
寄付者の所得控除

二重の免税待遇

財団の協力財団組織（財団の下部組織）

1. カナダ 1948年
2. ドイツ 1987年
3. インド 1988年
4. イギリス 1990年
5. オーストラリア 1994年
6. ブラジル 2003年
7. ドイツ(2つ目) 2009年

8. 日本 2010年

協力財団を通じてロータリアンが税制上の優遇措置を受けられることのできる国々に、限定された数の協力財団が存在する

公益財団法人ロータリー日本財団

- 公益財団法人ロータリー日本財団は、**国際ロータリーのロータリー財団の協力財団**です。この法人は日本の法律に従って設立された公益財団法人です。この法人を通じてロータリー財団に寄付しますと、**日本の税制上の優遇措置**を受けることができます。
- 現在、ロータリー財団に対する寄付金は、公益財団法人ロータリー日本財団を総じて寄付しますと、全ての寄付金が税制上の優遇措置が受けられます

《目的》

- ◆個人が海外留学するため、もしくは海外から日本へ留学するための奨学金(**グローバル補助金における奨学金**)およびロータリー平和フェローシップの付与
- ◆非営利財団法人である国際ロータリーのロータリー財団の活動を支援するための寄付金の提供

ロータリー財団誕生の もう一つの歴史的背景

ライオンズの誕生

1917年6月 メルビン・ジョーンズ(創立者)
シカゴに住む保険代理店 38歳
ライオンズのモットー **“We Serve”**
(元ダラスRC会員という説)



1917年当時のロータリーの歴史を重ねると、1923年のセントルイス国際大会において、決議23-34によって決着をみた奉仕活動の実践をめぐる論争の時代である。ミネアポリスRC会長のフランク・コリンズが、「Service not Self」と語ったのは1911年。後に「Service Above Self」となりロータリーの第1標語となりました。(因みに、ライオンズの標語は「We Serve」)
1917年RIの6人目の会長アーチC.クランフがアトランタ国際大会において、
「ロータリーが基金をつくり、世界的な規模で、社会奉仕の分野で、何か良い事をしよう。」と提案したのは、1917年。この基金は今日のロータリー財団へと発展します。

ロータリー財団のプログラム

財団のプログラム

ポリオプラス・プログラム

ロータリーの最優先項目。
ポリオ常在国、ウィルス流入国、
高リスク国を中心とした世界の
ポリオ根絶のための取り組み。

ロータリー平和フェローシップ

世界に6つあるロータリー平和
センターの1つで、国際
関係、平和、紛争解決とそ
の関連分野で学ぶ学生へ
の奨学金。

補助金（DG・GG）

人びとによりよい生活をもた
らし、地域 社会に貢献する
ロータリアンの活動を 支え
ている活動。（人道的奉仕
プロジェクト、奨学金、職業
研修チーム）

ポリオプラス・プログラム

◇ 3Hプログラム (Health , Hunger and Humanity)の開始

1979年 ローター誕生74年目

ポリオ予防接種 76万ドル 630万人接種

3Hプログラムの第1号 (フィリピン)

1980年 3Hプログラムの目標設定

- ・ **保健** ・ ・ **第1優先はポリオ、第2は基本医療と保健教育**
第3はリハビリ
- ・ **飢餓追放** ・ ・ **第1優先は水資源、第2は農業**
- ・ **人間尊重** ・ ・ **第1優先は識字率、第2は職業訓練、**
第3は緊急援助

◇ 3 Hからポリオプラスプログラムがスタート

3 Hプログラムの目的は国際間の理解、親善平和を推進するための方法として、人々の健康状態を改善し飢餓を救済し人間的社会的向上発展を図ること

1985年

全世界でポリオを根絶めざす「**ポリオプラス・プログラム**」がスタート。

2000年

WHO西太平洋地域37の国と地域をポリオフリー

2002年

大西洋から中央アジアに及び欧州地域もポリオフリー

1985年来、20億人以上の子供にポリオ接種

◇ポリオプラス・プログラム

1985年にロータリーがポリオプラスを開始した時「プラス」という言葉は、ポリオ撲滅の取り組みが子どもの間に流行する他の5種類の伝染病（はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風）の予防接種にも広がるだろうという考えを表していました。時とともに、ポリオ撲滅の取り組みによる恩恵は増えていきました。ポリオがこの世からなくなった後にも、ほかの感染症との闘いを支えていくインフラと協力態勢という遺産を意味しています

◇ポリオ根絶推進活動(GPEI)設立 1988年

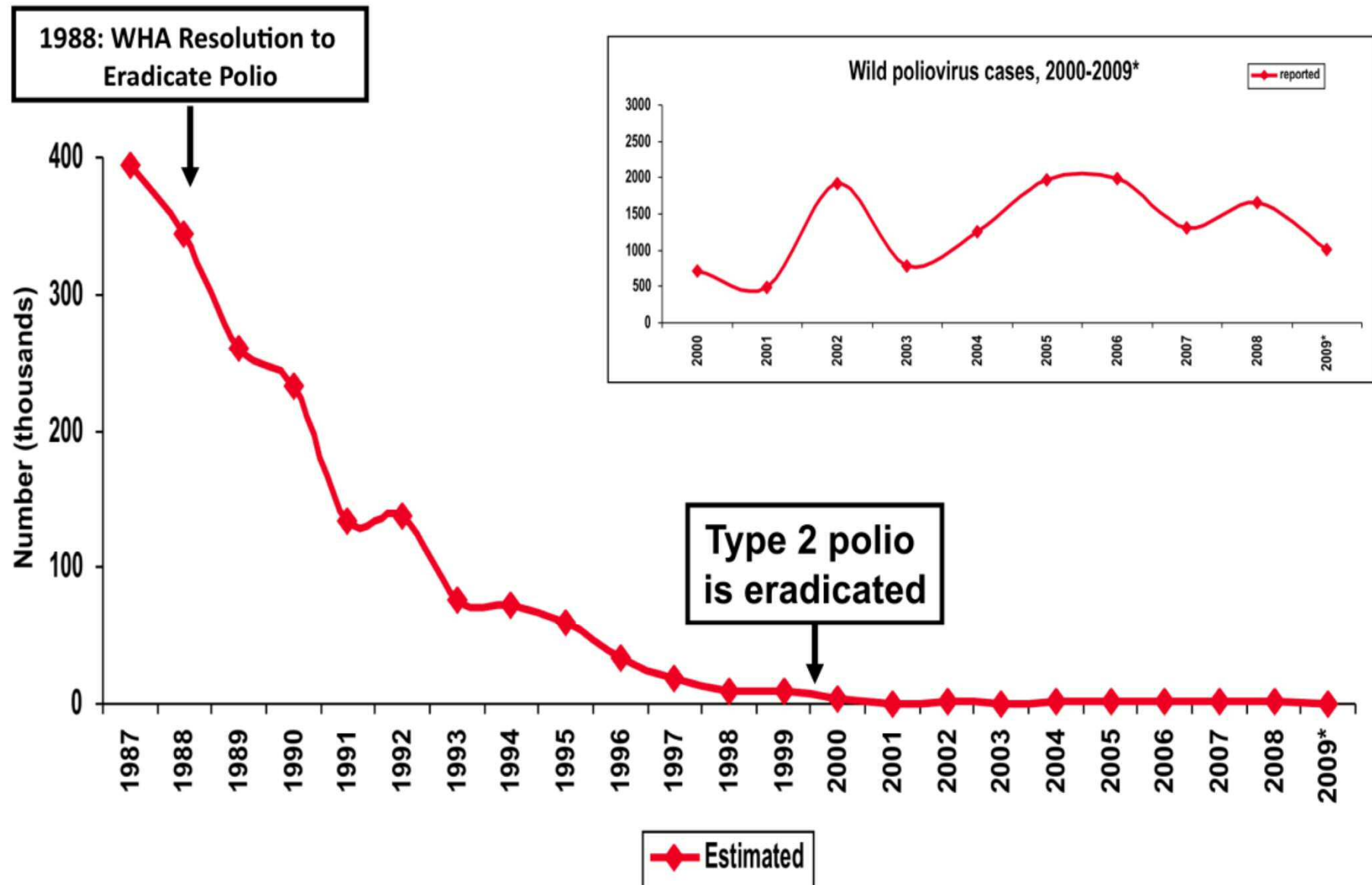
Global Polio Eradication Initiative

1988年 世界保健機構（WHO）総会でポリオ絶滅が決議され、**GPEI**が立ち上げられた。

当初GPEIは**国際ロータリー**、**WHO**、**米国疾病対策センター（CDC）**、**ユニセフ**で構成され、これらの団体が協力しポリオ根絶活動に当たっている。

その後、**ビル&メリンダ・ゲイツ財団**を含む他団体や**各国政府**が加わった。

図1 ポリオ症例数の世界的な推移



野生株によるポリオ発症数

ポリオ	国	2021年1月1日 ～8月24日	2020	2019	2018	2017	2016
常在国	パキスタン	1	84	147	12	8	20
	アフガニスタン	1	56	29	21	14	13
世界合計		2	140	176	37	22	37

今回も新規の確定症例は報告されませんでした。紛争等で集計が遅れている可能性があります。他の報告では環境サンプルや健康な子供、並びにその他の情報源などからパキスタン61例、アフガニスタン1例、合計62例の野生型ポリオウイルス1型（WPV1）の検出報告があります。

【2510地区/ポリオプラス委員会】

ロータリーからの資金面での支援

1985年以来、RIからGPEIへの寄付額

約20億ドル

1985年～2019年までのGPEI総額

151億8548万ドル

内訳:

援助国 67億0093万ドル（米国29億ドル、日本5.6億ドル）

民間団体 47億5157万ドル（**RI 16.3億ドル**、ゲイツ 31億ドル）

多角的セクター 20億8481万ドル

（WHO、世界銀行、アフリカ開発銀行、国連人道基金、JICA）

被援助国 18億0509万ドル

ロータリー平和フェローシップ

ロータリー平和フェローシップ

- 平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。(2004年開設)
- 毎年、世界中から選ばれる最高100人のフェローが、ロータリー平和センター提携大学で学びます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地体験の費用が含まれます。
- 創設から18年あまり、ロータリー平和センターは、平和構築の分野のキャリアを志す1人材を輩出してきました。その多くは、国連や世界銀行といった国際機関や草の根のNGOでリーダーシップを発揮し、より平和な世界を築くために活躍しています。

ロータリー平和センターの卒業生（学友）



**2004年センター開設以来
の卒業生：1200名以上**

**ロータリー財団に現況を
報告している人：95%**

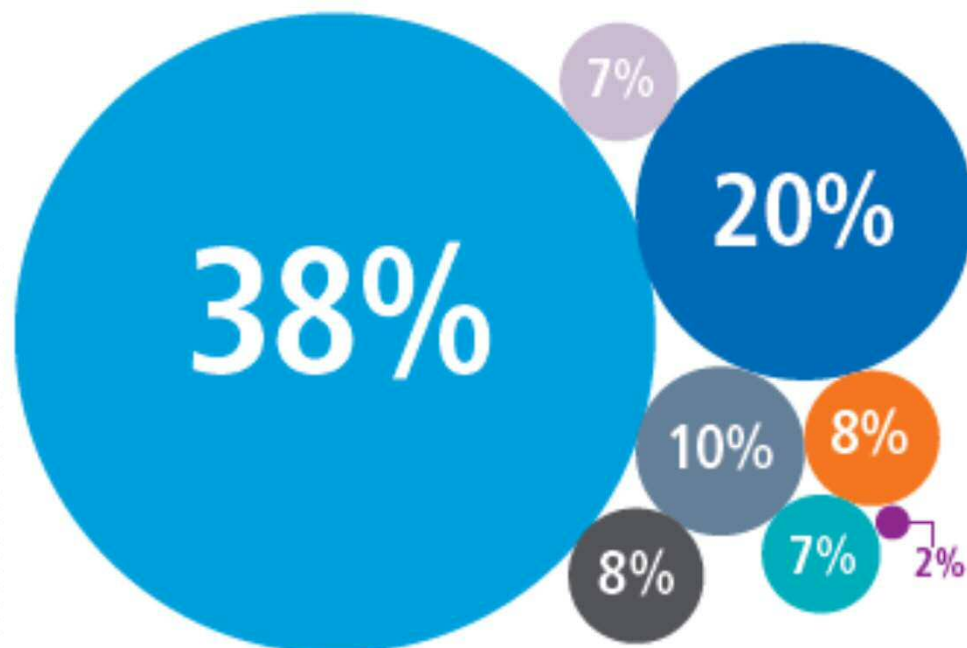
**「平和と紛争解決／紛争
予防」の分野、またはほ
かのロータリー重点分野
で活動している
学友：88%**



ロータリー平和センターの卒業生（学友）

ロータリー平和センター 卒業後の就職分野

平和フェローシップの学友は、各国政府、非政府組織、軍、警察、教育、人道支援団体、司法、国際組織のリーダーとして活躍しています。



- NGO
- 政府
- その他
- 教育

- 博士課程進学
- 研究／学術
- 国連機関
- ジャーナリズム



◇ロータリー財団学友

ロータリーは、現在もまだ続けているコースに私を乗せてくれました。もし私が国際親善奨学生としてアメリカの大学に行かなかったならば、国際理解の研究に従事しようとは思わなかったでしょう。



緒方貞子

元国連難民高等弁務官
ロータリー財団奨学生
(1951～52)2期生
日本女性ではじめての奨学生

ロータリー平和センターの卒業生（学友）



34%: 北米
22% : アジア

20%: ヨーロッパ
9%: 南米

6%: アフリカ
6%: オセアニア

提携大学

現在、世界各地に6つの平和センターが設置されています。



◆ロータリー平和センターの増設 （2030年までに）

2030年までに4つの新しい平和センター設置

アジア 1つ

中東・北アフリカ 1つ

サハラ以南のアフリカ 1つ

中南米 1つ

現在、6つのロータリー平和センター

- ▶ デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国）
- ▶ 国際基督教大学（日本、東京）
- ▶ ブラッドフォード大学（英国、ブラッドフォード）
- ▶ クイーンズランド大学（オーストラリア、ブリスベン）
- ▶ ウプサラ大学（スウェーデン、ウプサラ）
- ▶ チュラロンコーン大学（タイ、バンコク）

3カ月の集中研究プログラム、平和分野の専門能力開発修了証

補助金 (DG・GG)

地区補助金とグローバル補助金

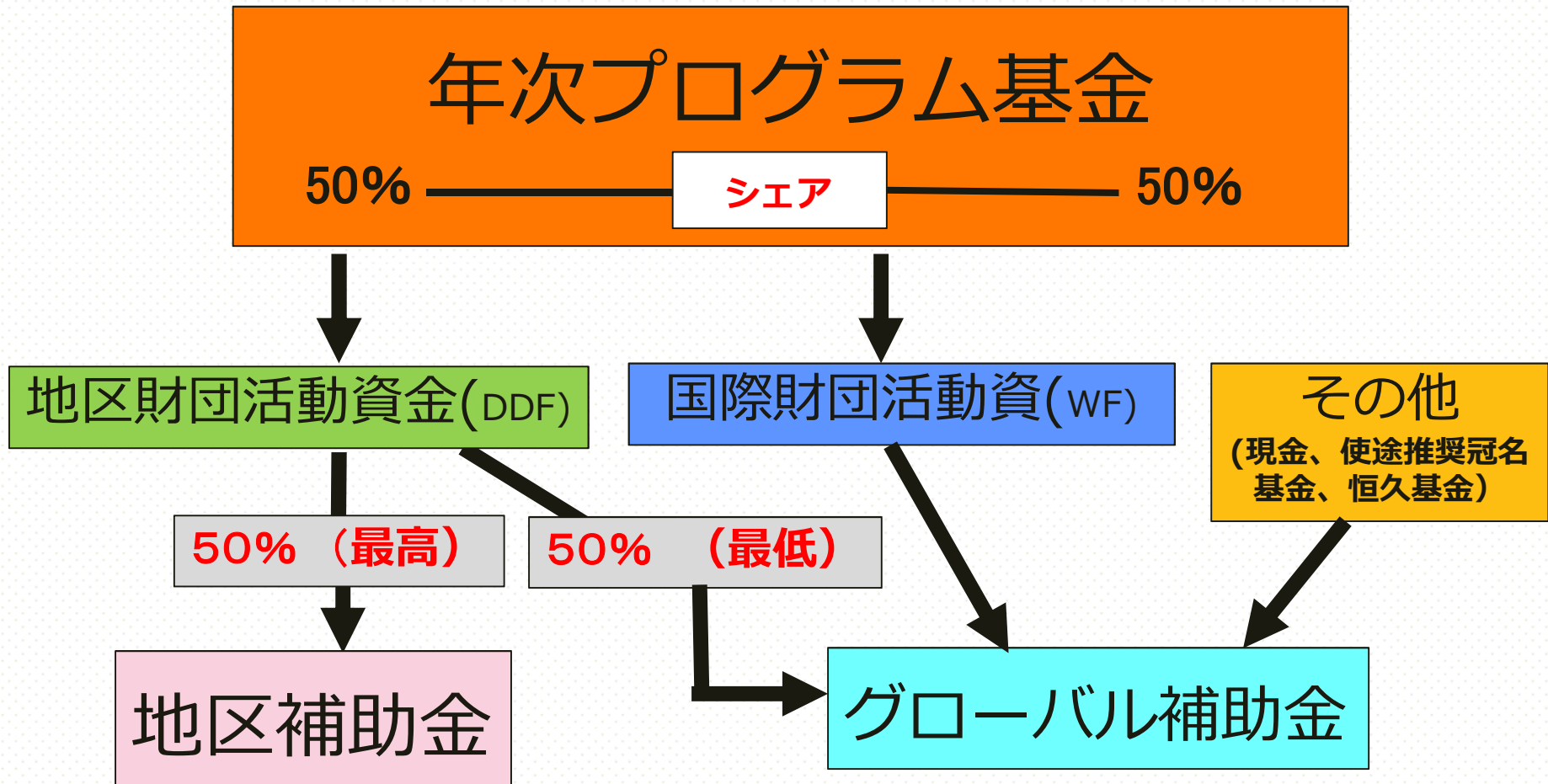
地区補助金 (DG)

- ▶ 小規模、短期のプロジェクト
- ▶ 地元または海外での活動
- ▶ ロータリー財団の使命を支える活動
- ▶ 年に一度、地区に一括支給

グローバル補助金 (GG)

- ▶ 大規模（合計予算30,000ドル以上）
長期のプロジェクト
- ▶ 持続可能・測定可能な成果をもたらす
- ▶ 重点分野に該当する活動
- ▶ 海外のクラブや地区と協力
- ▶ WF（World Fund:国際財団活動資金）からの上乗せ

財団のシェアシステム



地区補助金は地区に裁量権がゆだねられた資金であり、

多くのクラブが公正に利用できる。

◇米山記念奨学会

[事業紹介ビデオ「ひろがれ！人づくりの輪」](#)

◇目的◇

米山記念奨学会公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間の奨学財団です。

◇民間最大の奨学事業◇

将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

米山奨学生の採用数は、年間860人（枠）。国際奨学団体としては、事業規模・採用数とも、日本国内では民間最大です。

◇特色◇

奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

千歳RCロータリー財団・米山奨学委員会 活動方針と寄付の目標

◇2021～22年度委員会活動方針(具体的活動)

ロータリー財団具体的活動

- 1.ロータリー財団月間に奨学事業、人的事業について知識と理解を深めるために必要な卓話例会を実施する
- 2.寄付の目標額、財団6000ドル会員1人当たり100ドルを目標とし達成に向けて会員に広く呼び掛ける。
- 3.ポリオ撲滅を目指し、2021～2022年度も「ポリオ募金」を行う。
- 4.ポール・ハリス・ソサエティの寄付者を募る。

米山記念奨学会具体的活動

- 1.寄付の目標額を以下の通りとし、達成に向けて会員に広く呼び掛ける。

寄付を本年度も継続

◇2021～22年度の寄付金の目標(お願い)

ロータリー財団年次寄付

財団の友 1人当り 100ドル以上を!!
ポール・ハリス・ソサエティ 1,000ドル以上
(寄付者を募る)
ポリオ募金 (募金活動を実施する)

ロータリー米山記念奨学会

普通寄付金 前期2000円/後期2000円年間4000円
特別寄附金 (寄付依頼要請)
米山梅吉記念館「100円募金」年間1人100円

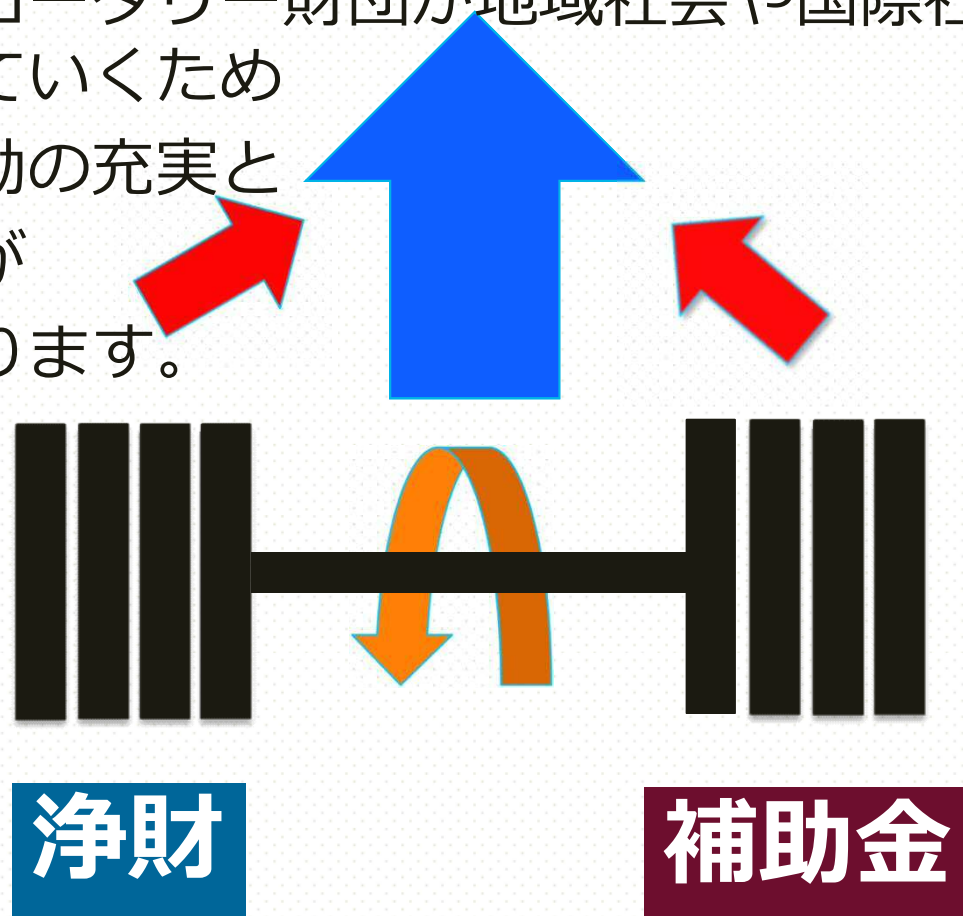
大口寄付の推進にご支援を

最後に

寄付と補助金活用は車の両輪

ロータリークラブの発展&ロータリー財団の発展

ロータリー・ロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕を強化増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要になります。



改めてロータリー財団とは、、、

- ロータリー財団は他の団体に寄付をするためではない
- **ロータリーの活動のために、自分たちで基金を貯めて有効に使う**
- **基金を補助金として地区やクラブが活用する**
- 補助金活用目的は**人道的奉仕と人材育成**
- 世界的な規模で影響力のある活動を行う
(たとえば、**ポリオ根絶**)
- 結果的にロータリーのイメージ向上や会員増強に繋がる

※ロータリー財団を調べると $\Leftarrow \Rightarrow$ ロータリーとは?(超我の奉仕)

ご清聴有り難うございました。

